

1 沿革

昭和 39 年	10 月	◆公害課の 1 係として、旧衛生研究所建物（横浜市南区中村町）に検査測定係を設置
昭和 43 年	4 月	◆検査測定係を母体として「公害センター」を新設 （企画普及課、大気課、水質課、騒音課の 4 課 20 名で発足）
昭和 45 年	7 月	◆従来行政機関であったものを研究機関に改め、企画普及課、大気科、水質科、騒音科とし、同月に特定有害物質、重金属を担当する特殊物質科を新設
	10 月	◆川崎支所を県工業試験所川崎支所内に、湘南支所を寒川町の県企業庁水源事務所内に、それぞれ設置
昭和 47 年	1 月	◆本所、各支所の新庁舎建設に着手し、平塚市豊原町に湘南支所の庁舎が完成
	3 月	◆本所の移転拡充が衛生研究所の拡充と同時に進められ、横浜市旭区二俣川に新庁舎が完成
	4 月	◆川崎支所を京浜支所と改称。大気部、水質部の部制をしき、企画普及課を管理課、騒音科を騒音振動科と改称
	5 月	◆本所を横浜市旭区二俣川に移設し、業務開始
	11 月	◆京浜支所庁舎が同敷地内に完成
昭和 48 年	7 月	◆研究業務の企画調整、普及指導業務の強化を図るため企画指導室を新設 京浜支所に大気科を、湘南支所に大気科と水質科をそれぞれ設置
昭和 49 年	8 月	◆京浜支所及び湘南支所に管理課を設置
昭和 56 年	6 月	◆京浜支所を特殊環境部（川崎駐在）、同所の大気科を特殊環境科とし、管理課を本所管理課に統合
平成 3 年	4 月	◆公害センターを「環境科学センター」として改組し、現在地で発足 従来の川崎駐在事務所、湘南支所、大気汚染監視センター（本庁）及び廃棄物研究部門（衛生研究所）を統合拡充するとともに、県民の環境学習のための施設等を整備
	7 月	◆落成式 ◆環境学習施設、環境情報監視システム本格稼働
平成 13 年	3 月	◆環境科学センターの地下 1 階に、ダイオキシン分析施設を整備
平成 14 年	1 月	◆環境学習施設の一部を改修し、新たに実習室を整備
平成 15 年	6 月	◆ 1 課 5 部の組織を 1 課 4 部（管理課、企画部、環境保全部、環境技術部、情報交流部）へ再編
平成 20 年	4 月	◆ 1 課 4 部の組織を 1 課 2 部（管理課、環境情報部、調査研究部）へ再編

2 運営概要

2.1 所在地

〒254-0014 平塚市四之宮 1 丁目 3 番 39 号
電 話 0463(24)3311（代表）
F A X 0463(24)3300
U R L <http://www.k-erc.pref.kanagawa.jp/center/contents.html>

2.2 敷地及び建物

敷地	敷地面積	4,218.28 m ² (H7.2.10 995.12 m ² 増)
建物	延床面積	7,098.10 m ²
本館棟	鉄骨鉄筋コンクリート造	地下 1 階、地上 4 階 7,048.80 m ²
付属棟	鉄筋コンクリート造	地上 1 階 49.30 m ²